

研究発表もうしこみフォーム

氏名：チョルモンゲレル

氏名のローマ字表記：Chaolumenggerile

所属：大谷大学（真宗総合研究所特別研究員）；中央民族大学（大学院博士課程）

専門分野：モンゴル古典文献学

発表のタイトル：カルムイク木版本『金光明経』の新研究——二種の木版本の関係・刊行時期について——

発表要旨（600字～800字程度）：

カルムイク（モンゴル語）木版本『金光明経』は、17世紀にオイラドのラブジャムバ・ザヤ・バンディダ・ナムハイジャムソがチベット語からトド文字モンゴル語に翻訳したトド文字文献である。このザヤ・バンディダ・ナムハイジャムソ訳『金光明経』は、イジル・ザイのトルゴドのドンロブラシ・ハンの時代にカルムイクで木版化された。

この経典を中央民族大学の教授ミンガド・エルデムトゥが2004年に新疆のイリにおける現地調査の際にエヴルジン・ゲンゲイという人物の個人蔵書から見出した。

カルムイク木版本『金光明経』は、現在までに見つかっているトド文字『金光明経』のうちで最も首尾完備した形で学界に提供された文献である。そもそもトド文字文献の多くは写本で流布しており、木版本の存在じたいが貴重な研究対象となる。トド文字『金光明経』についても同様であり、中でもカルムイクで木版化された事情については、ほとんど研究の対象とされていない。

本報告は三章から成る。1) カルムイク木版本『金光明経』の研究状況：①20世紀70年代までの研究 ②21世紀初頭の研究。2) カルムイク木版本『金光明経』は、現在、二種類の木版本が見つかっている。①中央民族大学の教授ミンガド・エルデムトゥが2004年に新疆のイリにおける現地調査の際に新疆イリのエヴルジン・ゲンゲイという人物の個人蔵書から見出したもの。②モンゴル国科学アカデミー言語文学研究所トド文字蔵書中に元々所蔵され、現在は所在不明のもの。一方、現在、カルムイク共和国のエリスタ市在住の学者バドマエフ氏の個人蔵書に、その写真版が所蔵されている。

これら二種の木版本の関係について、研究によって明らかになったことは、新疆イリのエヴルジン・ゲンゲイ所蔵の『金光明経』は、モンゴル国科学アカデミー言語文学研究所トド文字蔵書中に所蔵されていた『金光明経』よりも古い時代に木版印刷されたということである。

3) カルムイク木版本『金光明経』の刊行時期について：従来の研究者は1741～1761とか1757～1761年という年代を提唱してきた。しかし、報告者の考えでは、1743～1755年の間に刊行されたと見ている。報告ではこの理由を詳述する。